

どんな**英語オンチ**でも

話せる!

伝わる!

スタッフのための
歯科英語

歯科医師
勝又いづ

短く! シンプル!
で通じる

外国人患者への
対応でお困りの
歯科医院に

その1

はっきり伝える！ 文法は間違っても全然OK

日本人が苦手とする「an」や「the」の使い分け、「will」「want」「would」の使い方など、細かい文法は気にしなくてもOKです。その代わりにワンポイント、重要なフレーズだけハッキリと伝えることを心がけましょう！（本書でも、文法的な正しさよりも「いかに簡単に覚えるか」を優先しています）

例1

「痛みはありますか?」と聞きたいとき

- ① Do you have a pain ?
- ② Do you have the pain ?
- ③ Do you have pain ?

- ➔ 正解は①ですが、実際はどれでも伝わるのでOKです！
- ➔ ハッキリ伝えるのは「pain」!

例2

「あなたの予約は〇月〇日です」と伝えたいとき

- ① Your appointment is 〇〇.
- ② Your appointment will be 〇〇.

- ➔ どちらでも伝わるのでOK。日付をハッキリ伝えましょう!



「道に迷った!」と 電話が来たら?

最近ではスマートフォンの地図アプリなどがありますので、迷ったとしても「医院のすぐ近くから電話をしてくる」場合がほとんどです。特に建物の中の2階以上にある医院は要注意です。



何が見えますか?

What can you see?

当院は〇〇レストランの隣にあります

Our office is **next** to 〇〇 restaurant.

当院はコーヒーショップの手前にあります

Our office is **before** coffee shop.



玄関にて

こんにちは。
お名前をお伺いしてもよろしいでしょうか？

Hello, your name please.

Hint! 日本人の患者さんは来院時に「〇時に予約した〇〇ですが……」と言いますが、外国人の患者さんのほとんどは、自分からは予約時間や名前まで言ってくれません。そのため、来院されたらこちらから名前を伺いましょう。

お待ちしていました

We are waiting for you.

靴を脱いでスリッパに履き替えてください

Please **take off** your ^{シューズ}shoes and **change into** ^{スリッパーズ}slippers.



受付にて

日本の保険証をお見せください

ジャパニーズ

ヘルス

インシュランス

Your Japanese health insurance, please.

おかけになって、問診票にご記入ください

Please have a seat and ^{フィル イン}fill in this form.

何かご質問がありましたらお知らせください

Let me know if you have question.

問診票を書いてもらったら

おかけになって少々お待ちください

Please **have a seat** and wait for a moment.

丸暗記キーワード！

Please have a seat

「おかけになってください」という表現は待合室，ユニットでよく使います。「Please sit down (座ってください)」でも大丈夫ですが、「Please have a seat」のほうがより丁寧で適切です。

Point! 「痛み」の表現はさまざま!

「Tooth pain」でももちろん「歯の痛み」を指しますが、これではざっくりしすぎて痛みの詳細がわかりません。そのため、英語の聞き取りに自信のある方は以下のように聞いてみましょう。

Could you tell me about your pain?

痛みについて教えてください

このように聞くと、痛みのニュアンスも知ることができます。外国人の患者さんがよく使う痛みの言い方を以下にあげますので、聞き取りに自信のない方も、上から順に患者さんに聞いてみるとよいでしょう。

慢性的な痛み(う蝕など) : Tooth ache (トゥースエイク)

鋭い痛み : Tooth pain (トゥースペイン)

しみるような痛み(知覚過敏など) : Sharp pain (シャープペイン)

ひどい痛み(根尖性歯周炎など) : Severe pain (シビアペイン)

ズキズキする痛み(歯髄炎など) : Throbbing pain (スロピングペイン)

ヒリヒリした歯肉の痛み : Sore gum (ソアガム)

Point! アメリカ人が使う歯式に要注意

日本人の患者さん同様、外国人の患者さんに歯式を用いて説明することはありません。しかしアメリカ人の場合、まれに患者さんのほうからユニバーサル方式の数字で言うてくることのあるため、頭の隅に入れておくといいでしょう(下図の左:永久歯, 右:乳歯)。

